



架け橋期のカリキュラムとは

幼児期から児童期の発達を見通しつつ、5歳児のカリキュラムと小学校1年生のカリキュラムを一体的に捉え、地域の幼児教育・保育と小学校教育の関係者が連携して作成するものです。

山口県が設定した架け橋期のカリキュラムの「開発の方向性」及び「共通の視点例」は以下のとおりです。

【山口県の架け橋期のカリキュラム「開発の方向性」】

- 地域、園・小学校が創意工夫しながら、それぞれの特色を生かしてカリキュラムの作成ができるようにする。
- 山口県における「共通の視点例」及び実践事例を示すことにより、各園・小学校、市町が架け橋期のカリキュラムを作成する上での手掛かりとすることができるようにする。

【山口県の架け橋期のカリキュラムの「共通の視点例」】

- 子どもたちの現状
- めざす子ども像（園・小学校・地域・家庭みんなで考える子ども像）
- 育みたい力（育みたい資質・能力、重点を置きたい10の姿、ねらい 等）
- 育ちと学びのつながり（園での活動と小学校の学習のつながり）
- 人のつながり
 - ・ 子ども同士のつながり（交流活動 等）
 - ・ 先生同士のつながり（合同会議・研修会 等）
 - ・ 家庭とのつながり
 - ・ 地域とのつながり
- 指導上の配慮事項（「つながり」に関するもの）
 - ・ 先生の関わり
 - ・ 環境の構成

次ページから、令和5年度幼児教育・保育長期研修生派遣園・在籍校作成・実践カリキュラムを事例として掲載しています。なお、センターWebページには、令和5年度以外の長期研修生派遣園・在籍校作成・実践カリキュラムも掲載しております。



架け橋期のカリキュラム例①「やない架け橋期のカリキュラム」

吹き出しに、作成園・小学校が「架け橋期のカリキュラム」作成に当たって大切にしたことや工夫点を示しています。

柳井市の枠となるものとして作成しました。めざす子ども像も市内共通のものです。

カラフルでかわいいデザイン*にし、架け橋期がイメージできるようにしました。また、「掲示するなどしていつも手元に置いてほしい」との思いも込めました。
 ☆ 右の二次元コードのデータはカラーになっていますので、ぜひご覧ください。

4月		3月		4月		8月		9月		3月								
<p>柳井市の枠となるものとして作成しました。めざす子ども像も市内共通のものです。</p>		<p>保育園(所)・幼稚園<5歳児>遊びを通した学び</p>		<p>幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿</p>		<p>自分が大好き・友達が大好き・園や学校が大好き・柳井が大好き!!</p>		<p>小学1年生教科等を通した学び</p>		<p>令和6年 2月</p>								
こどもの育ちや学びのつながり	知識・技能の基礎	<ul style="list-style-type: none"> 生活や活動の見通しをもち、考えて行動する。【①②】 運動会や発表会に向けて、自分達も内容を考えたり、友達と協力したりする。【③④⑩】 自分の気持ちを先生に受け止めてもらったり、行動を振り返ったりすることで、友達の思いやきまりの必要性に気付く、行動する。【④⑤⑥】 散歩や遠足などの園外保育で、公共施設を大切にすることで社会とのつながりを意識する。【④⑤】 みんなで使う物を大切にしたり、片付けたりして、自分で生活の場を整え、その必要性を理解する。【①④⑤】 		①健康な心と体	<ul style="list-style-type: none"> 自分でできることを自分でしようとする。【②】 気持ちのよい挨拶や会釈、返事をしようとする。【①】 必要なものや日課を自分で準備しようとする。【②】 時間を意識して行動しようとする。【①②】 楽しくマナーよく給食を食べようとする。【①⑤】 先生や友達の名前を覚え、進んで関わろうとする。【③】 分からないことや困ったことは先生や友達に聞こうとする。【③】 学校のきまりを知り、ルールを守って生活しようとする。【④】 場に応じた言葉遣いの大切さを知り、使おうとする。【④】 学校応援団など地域の方とのふれあいを楽しむ。【⑤】 教科等の学習に興味・関心をもつ。【⑥】 校庭の自然に触れて、その変化を感じる。【⑦】 自分たちの遊びや生活、学習の中で楽しみながら数えたり比べたりする。【⑧】 友達や先生との会話を楽しむ。【⑨】 友達と楽しく歌を歌ったり、絵を描いたりしようとする。【⑩】 		②自立心	<ul style="list-style-type: none"> 学級や学校での過ごし方について知り、見通しをもって学校生活を送ることができる。【①】 登下校や学校生活の中での安全な過ごし方について考えたり判断したりすることができる。【①】 生活や学習の中で、めあてをもって取り組み、振り返ることができる。【②】 係や当番活動など自分の役割を果たすことができる。【②】 学校行事を通して、新しいことや初めてのことにも進んで挑戦し、友達と協力しながら活動することができる。【③】 相手の立場に立って考えたり、気持ちに寄り添おうとしたりすることができる。【④】 よいことと悪いことを判断し、よいと思うことを進んで行おうとする。【④】 友達との関わりの中で思いやりをもって言葉をかけ、行動することができる。【④】 行事や交流を通して、自分の成長や頑張り、友達のよさに気付くとともに、いつも自分を支えてくれる周りの人に目を向け、感謝の気持ちをもつことができる。【⑤】 探究心をもって予測したり、試したりして主体的に学習に取り組むことができる。【⑥】 植物や生き物と関わり、生命を大切にしようとする。【⑦】 数量や図形、標識や文字などを生活や学習の中で使うことができる。【⑧】 いろいろな場面での話し合い活動を通して、自分の考えを伝えたり、友達の考えを聞いたり、質問したりすることができる。【⑨】 読書習慣を身に付け、言語に対する興味関心を広げるとともに、感じたことや考えたことを自分の言葉で表現することができる。【⑨】 自分のイメージを動きや言葉、絵などで表現することの楽しさを味わう。【⑩】 		③協同性	<ul style="list-style-type: none"> 自然に触れて感動する体験を通して、好奇心や探求心をもち、身近な動植物を命あるものとして大切に作る。【⑥⑦⑩】 園生活の中で充実感や満足感をもち、自分のやりたいことに向かって前向きに取り組む。【①②】 園生活の中で心動かす出来事に触れ、感じたことや思い巡らせたことを自分で表現する。【⑥⑨⑩】 仲間の意思を大切にしようとし、友達の主張に耳を傾け、共感したり意見を言い合ったりする。【③⑥⑨】 様々な経験や対人関係の広がりから自立心を高め、就学への意欲や期待をもつ。【②⑤】 		④道徳性・規範意識の芽生え	<p>※各園の特色に応じて変更も可能です。</p>		⑤社会生活との関わり	<p>※各校の特色に応じて変更も可能です。</p>	
	思考力・判断力・表現力の基礎	<ul style="list-style-type: none"> ごっこ遊びの中で生活に必要な文字や数字、標識などに興味をもち、使うことで伝わる喜びを味わう。【⑧】 日々の生活を振り返り、楽しかったことを話したり聞いたりする。【③⑤⑨】 絵本や童話などの内容をこども自らの経験と結び付けたり、思いを巡らせたりして、思考力・想像力を豊かにする。【⑥⑩】 自分のイメージしたものをのびやかに表現し、友達同士で表現する過程を楽しみながら、喜びを味わう。【⑨⑩】 		⑥思考力の芽生え	<p>※各園の特色に応じて変更も可能です。</p>		⑦自然との関わり・生命尊重	<p>※各校の特色に応じて変更も可能です。</p>										
	学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> 自然に触れて感動する体験を通して、好奇心や探求心をもち、身近な動植物を命あるものとして大切に作る。【⑥⑦⑩】 園生活の中で充実感や満足感をもち、自分のやりたいことに向かって前向きに取り組む。【①②】 園生活の中で心動かす出来事に触れ、感じたことや思い巡らせたことを自分で表現する。【⑥⑨⑩】 仲間の意思を大切にしようとし、友達の主張に耳を傾け、共感したり意見を言い合ったりする。【③⑥⑨】 様々な経験や対人関係の広がりから自立心を高め、就学への意欲や期待をもつ。【②⑤】 		⑧数量や図形・標識や文字などへの関心、感覚	<p>※各園の特色に応じて変更も可能です。</p>		⑨言葉による伝え合い	<p>※各校の特色に応じて変更も可能です。</p>										
		<ul style="list-style-type: none"> 自然に触れて感動する体験を通して、好奇心や探求心をもち、身近な動植物を命あるものとして大切に作る。【⑥⑦⑩】 園生活の中で充実感や満足感をもち、自分のやりたいことに向かって前向きに取り組む。【①②】 園生活の中で心動かす出来事に触れ、感じたことや思い巡らせたことを自分で表現する。【⑥⑨⑩】 仲間の意思を大切にしようとし、友達の主張に耳を傾け、共感したり意見を言い合ったりする。【③⑥⑨】 様々な経験や対人関係の広がりから自立心を高め、就学への意欲や期待をもつ。【②⑤】 		⑩豊かな感性と表現	<p>※各園の特色に応じて変更も可能です。</p>			<p>※各校の特色に応じて変更も可能です。</p>										

子どもの姿が、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」とつながっているのかを確認できるよう、番号を記入しました。

内容項目を細かくせず、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を基に子どもの姿のみを示すことで、各園の考えや特色ある取組を尊重し、どの園・小学校でも活用できるようにしました。

1年生前半期は、「~しようとする」という意欲目標としました。そうすることで、子どもたちに、寄り添った支援や言葉がけができるようにしてほしいとの願いを込めています。

カリキュラムのデータはこちら→



このカリキュラムの作成に当たった実践例を P29～32 に掲載しています！！

吹き出しに、作成園・小学校が「架け橋期のカリキュラム」作成にあたって大切にしたことや工夫点を示しています。

架け橋期のカリキュラム例②-1「周南市幼保こ小の架け橋期のカリキュラム(園)」

山口県の共通の視点例をもとに周南市が作成した枠を使用しました。

令和6年度周南市幼保こ小の架け橋期のカリキュラム(小さき花幼稚園)

①(架け橋期にめざす子供像)②(育みたい力)について話し合い、共通理解することでそれぞれの教育・保育実践へのつながりを考えることができるようになりました。

園と小学校、互いの実践を知り、聞き合うことができるように、園ではどのような行事や年齢グループの保育を行っているかを記載しました。同年齢クラスでの保育は、内容によって3つに分けて記載しています。

対象	5歳児												
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
時期	年長となった喜びを感じ、張り切って新しい生活を楽しむ時期			気の合う友達と遊ぶ中で、仲間意識が育っていく時期			友達との関わりを深めながら、活動や遊びを充実させていく時期			友達と共通の目的に向かって意欲的に取り組む時期			
①架け橋期にめざす子供像	自分の思いをもち、喜んで表しあおうとする子						思いやりをもち、友達と一緒にさいごまで頑張るめく子						
②育みたい力(ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・年長になったことへの喜び、自覚 ・身の回りがある自然に興味・関心を持ち、命の尊さを感じる心 ・自分の思いを伝える力、友達の意見にも耳を傾ける力 						<ul style="list-style-type: none"> ・すすんで年少・年中児とかかわり、優しく接したり、助けたりしようとする力 ・自立心・友達と力を合わせ生活をすすめていく力 ・自分の力を発揮しながら、友達と共通の目的に向かって活動に取り組む力 						
③育ちと学びのつながり(活動・教科等)	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期始業式 ・挨拶・排泄・持ち物の始末 ・食事の見直し ・交通安全教室 ・親子遠足(動物園) 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練(火災・不審者) ・親子の集い ・朝ご飯チャレンジ ・お泊り保育 ・親子遠足 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康診断 ・朝ご飯チャレンジ ・お泊り保育 ・1学期終業式 	<ul style="list-style-type: none"> ・2学期始業式 ・徳小小学校探検 ・避難訓練(不審者・火災) ・ミニ運動会 ・秋まつりジュース屋さん 	<ul style="list-style-type: none"> ・岐陽中職業体験 ・体操参観 ・運動会 ・クリスマスパーティー ・2学期終業式 	<ul style="list-style-type: none"> ・バス遠足(みかん狩り) ・保育参観 ・七五三祝儀式 ・クリスマス会(劇発表会) ・クリスマスパーティー 	<ul style="list-style-type: none"> ・3学期始業式 ・郵便ごっこ ・豆まき ・ドッジボール大会(2面) ・お別れ遠足 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホットケーキ作り ・避難訓練(火災・消防車見学) ・ひなまつり会 ・音楽発表会(合奏・歌) ・卒園式 	<ul style="list-style-type: none"> ・このぼりの制作 ・動物を作ろう ・自然物(園庭の花)の観察 ・リレーあそび ・走り測定(20Mのタイムを測る) ・鍵盤ハーモニカにさわってみよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・水遊び ・水遊び ・跳び箱あそび ・鉄棒あそび ・鍵盤ハーモニカで短い曲を演奏してみよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会の思い出を描こう ・走り測定(1周のタイムを測る) ・運動会遊び ・鍵盤ハーモニカでいろいろな曲に挑戦してみよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・外遊びを描こう ・クリスマス制作 ・ボール遊び ・様々な歌で思いを表現しよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・よく見て描くと楽しいよ(自転車) ・わたしの夢を描こう ・ドッジボール大会 ・縄体操 ・音楽発表会をつくりあげよう
④人とのつながり	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども同士のつながり(交流活動) ・指導者同士のつながり(合同会議・研修会) ・家庭とのつながり ・地域とのつながり 												
⑤指導上の配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> ●遠征したことへの喜びや、緊張、不安などの心の動きを受け止め、寄り添う。 ●クラス全体ではわかりやすいルールで友達とふれあえたり、皆で盛り上がりたっているような活動を取り入れる。 ●生活習慣や園生活の決まりを見直す。 ●一日の予定を文字や図で示し、見直しをもって遊びや生活に取り組めるようにする。 ●周囲との関わりの中で思いを伝えたり相手の思いに気付いたりできるように仲立ちをする。 ○交通指導員の方から、交通安全についてのルールを聞き、実際にやってみる。 ○遠足を通して地域や生き物に関心をもてるようにする。 ○園庭の花を観察し、自然物の美しさに触れ、細かく観察する。 ●教師がすぐ教えるのではなく、「どうしたらいいかな」など問いかけることで、自分たちで考え、判断し、行動することを繰り返させ、主体的に学ぼうとする姿を引き出す。 ●様々な場面で「遊ぶ」場面を設定し、子どもが自分の思いを表出し、最後まで粘り強く取り組めるように援助する。 ●様々な場面で、子どもたちの「分かち合い」の場を大切にし、自分たちの学びの良さや次への見通しがもてるようにする。 												

校区内でずっと取り組んでいる「小学校ちよこっと体験」を交流の重点に置き、互いに学びのある内容になるよう実践しようとして共通理解しました。

協議の中で園と小学校、互いが大切にしていると分かった「自分たちで考え判断することを繰り返すこと」「選ぶ場面の設定」「分かち合い(振り返り)を大切にすること」を2年間貫く保育者の関わりとして記載しています。

カリキュラムのデータはこちら→



このカリキュラムの作成に当たっての実践例を P29～32 に掲載しています！！

架け橋期のカリキュラム例②-2「周南市幼保こ小の架け橋期のカリキュラム(小学校)」

吹き出しに、作成園・小学校が「架け橋期のカリキュラム」作成に当たって大切にしたいことや工夫点を示しています。

山口県の共通の視点例をもとに周南市が作成した枠を使用しました。

小学校では、生活科を中心にした総合的な学びをデザインしていることが伝わるようにし、「振り返り(分かち合い)」に大切な、国語科の「話す・聞く」の単元も記載しています。「どんなことを学習するのか」を伝えるツールにもなっています。

園と小学校がめざす子ども像は、学校・地域連携カリキュラムにもつながっている部分があり、架け橋期の学びが18歳までの学びにもつながる重要なものだと伝わるように、中学校区のカリキュラムも掲載しました。

校区内で長年取り組んでいる「小学校ちよこっと体験」を1年生の学びの集大成とし、自分たちの成長を振り返り、次の学びへつなげられるような活動をめざしています。

対象		小学校1年生											
架け橋となる幼児期の終わりまでに育ててほしい姿	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
時期		1年生になった喜びを感じ、意欲的に学校生活を送ろうとする時期	学校生活に慣れ、安心して自信をもって様々なことに関わり、友達と楽しく過ごす時期	学校のルールや考えを出し合い、学習や生活が充実する時期	同じ目的に向かって、友達と力を合わせて活動に取り組む時期	1年生の活動を振り返って自信をもち、2年生になることへの期待が高まる時期							
①架け橋期にめざす子供像		重点的に育みたい力		自分が経験したことや考えたことをのびのびと伝え合える子				自分たちの課題に向かって友達と最後まで粘り強く取り組もうとする子				【中学校区と連携したカリキュラム】(知) 自信をもって主体的に学び続ける人(徳) 他者を思いやり、感謝の心をもつ人(体) よい生活習慣と強い体をもつ人(連携) 地域の明日を担う人	
②育みたい力(ねらい)		話す力・聞く力・待つ力 自分の気持ちや考えが伝わる力				言葉の力 感動体験 共感する力				自分たちの課題に向かって友達と最後まで粘り強く取り組もうとする子 友達のことを理解しようとする力 コミュニケーション能力 友達と一緒に学びを作り出す力			
③育ちと学びのつながり(活動・教科等)		<ul style="list-style-type: none"> 国語【みんなに知らせよう】 国語【しらせたいなみせたいな】 国語【みんながなげがきできるかな】 国語【いいこといっぱい1年生】 算数【かざすとすじ・なんぼの】 算数【いろいろなたし】 算数【ふえたりへたり】 算数【なんじなんじかん】 生活【いちねんせいはいはまるよ】 生活【なまよしいっぱいがっこうたんけん】 生活【なつとともだち】 生活【いもものなまよし】 生活【あまとともだち】 生活【みんなのここに大きくせん】 生活【もうすぐみな2年生】 生活【ふゆとともだち】 											
④人とつながり(交流活動)		<ul style="list-style-type: none"> 交流活動1(2-6年生) 1年生を迎える会 交流活動2(6年) スポーツテストの仕方をおもてなそう 交流活動3(幼児) 秋をいっしょに楽しもう 交流活動4(2-6年 保護者 地域の方) 親子交流会 交流活動5(年長児) 小学校ちよこっと体験 											
⑤指導上の配慮事項		<ul style="list-style-type: none"> 生活科を中心とした総合的・関連的な指導の充実を図る。(いろいろな経験をする場の設定 季節や行事に合わせた環境支援) 教師がすぐ教えたり説明したりするのはなく、自分たちで考え、判断し行動することを繰り返す、主体的な学習者として育つための関わり方を大切にします。 課題解決のために「選ぶ」場面を意図的に取り入れ、子どもが自分の思いを表現できるようにする。(自分の思いを伝え合う場の設定) 子どもたちの「振り返り」の時間を大切に、自分たちの学びのよさや次への見通しがもてるようにする。(振り返りを生かした授業づくり) 児童が安心感を持ち、自ら学びを広げたり、自分の力で学校生活を送ったりできるように学習環境を整える。(道具の使い方 机の配置 場の設定などを視覚的に示す。活動のパターン化を図る など) 											

協議の中で園と小学校、互いが大切にしていると分かった「自分たちで考え判断することを繰り返すこと」「選ぶ場面の設定」「分かち合い(振り返り)を大切にすること」を2年間貫く教師の関わりとして記載しています。

カリキュラムのデータはこちら→



架け橋期のカリキュラム例③-1「下関市川中小学校区架け橋期のカリキュラム(人をつなぐ)」

吹き出しに、作成園・小学校が「架け橋期のカリキュラム」作成に当たって大切にしたことや工夫点を示しています。

架け橋期を通してどのような子どもを育てたいのかを表す「めざす子ども像」を決めることで、共通の視点で同じ小学校区の子どもたちを育成することができると考えました。

以前作成されていた接続期のカリキュラムをもとに、「人をつなぐ」ページと「学びをつなぐ」ページに整理し、2枚にまとめました。

交流活動を中心として、上側が園、下側が小学校の欄として、保幼小のつながりが分かりやすくなるようにまとめました。

下関市川中小学校区(木の楽保育園・ひだれ保育園・川中幼稚園・下関国際高等学校付属幼稚園) 架け橋期のカリキュラム		【幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿】																																			
		①健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④道徳性・規範意識の芽生え ⑤社会生活との関わり ⑥思考力の芽生え ⑦自然との関わり・生命尊重 ⑧数量や図形・標識や文字などへの関心・感覚 ⑨言葉による伝え合い ⑩豊かな感性と表現																																			
		自分でき判断する子				自分でき判断する子				自分でき判断する子																											
		♣かしこ子(意欲的に学び、表現する子)				♥やさしい子(認め合い支え合う子)				♦つよい子(粘り強く、一生涯命取り組む子)																											
		年長5歳児																																			
		4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
めざす子ども像	幼児の姿	<ul style="list-style-type: none"> ●年長児になったことの喜びや期待感が見られ、年少児からつながりのある友達と一緒に遊ぼうとする。 ●戸外で活動することも好み、いろいろな運動を遠くまで。 ●身近な動物植物に関わりをもち、言葉を話す。 																																			
育みたい力	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ●新しい環境に慣れ、友達とのあそびを楽しむ。(♣♥) ●年長児としての自覚をもち、生活に必要なきまりを守る。(♦) ●身近な動物植物に触れたり、親しみをもって世話をしたりするなかで、やさしい気持ちで接することの大切さを感じる。(♥) 																																			
環境構成	☆保育者の援助	<ul style="list-style-type: none"> ・環境の変化から落ち着かない幼児がいるので、使い慣れた道具や用具を準備し、安心して遊べるようにする。 ・いろいろな素材や用具などを自分たちで遊び、伸び伸びと遊べるように用意しておく。 ・動物植物の世話や命に関する絵本の読み聞かせ等を通して、命の大切さについて知らせる。 ・6年長児になった喜びや緊張、不安などさまざまな気持ちに寄り添い、一人ひとりの丁寧に受け止める。 ・☆異年齢とかわからず中で、世話をしようとする気持ちになるようにする。 ・☆教師も一緒に驚いたり、感動したりして、幼児の喜びや発見を大切にしたい。 																																			
家庭との連携	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○進級時の生活の様子を知らせ、幼児が安心して過ごせるよう協力する呼び掛け。 ○基本的な生活習慣について、園と家庭で一貫した指導ができるように伝えていく。 ○家庭訪問、個人懇談等を通して、園でのあそびの様子や年長児になってからの成長の様子を知らせる。 ○連絡帳を通してやり取りしたり、その日の保育について隔りに保護者に伝えたりする。 																																			
交流活動の予定	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ●1年生授業参観 交流会前打ち合わせ(4月) ●1年生授業参観 運動会練習見学 ●1年生授業参観 幼児小研修会(7月) ●2年生との交流(学級)JA♥ ●5年生との交流(6月)♣♣ ●進級会、(給食見学会)・トイレの使い方 ●プール見学・裏庭見学・トイレの使い方 ●1年生授業参観 2年生との交流(学級)JA♥ ●就学期研修(10月)♥♥ ●1年生を味わう体験・トイレの使い方 ●生活科授業参観・トイレの使い方 ●授業参観(土曜日)(11月) ●園の話(園教務指導)(11月) ●校長室見学・トイレの使い方 ●園遊会利用・トイレの使い方 ●幼小連絡協議会(来年度の打ち合わせ) ●全校授業参観 ●1年生との交流(年長児の小学校体験)♥♦ ●予備入学(2月) 																																			
小学校	ねらい	1学期前半												1学期後半																							
環境構成	☆教師の援助	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生になったことと喜びや期待感を感じる。 ●友達や先生と楽しく関わろうとする。 ●給食、掃除など学校生活に慣れる。 ●学校のリズムに慣れる。 ●安全に上下校する。 ●1日目の忘れ物をつかみ、落ち着いて生活する。 ●運動会の内容を知らせ、練習に取り組む。 ●学習に興味をもつ。 ●意欲的に学ぶ。 ●友達と仲良く遊び、助け合いながらのびのびと活動する。 ●給食のコーナーや折り紙、おもちゃを要ま、休み時間に自分たちの好きな遊びをする。 ●先生の仕方や、話などを通して、みんなの前で発表するときには自信をもって伝えられるようにする。 ●学校や学級のルールを再確認したり、2学期の目標を立てたりして学校生活を充実させる。 ●校外活動を通して、社会のマナーやルールを体験的に学習し、まわりに対する思いを積極的に取り入れる。 ●先生や先生と話をすることで、園生活を思い出しながらつながりを意識した活動を取り入れる。 ●先生の話を聞き、みんなの前で発表するときには自信をもって伝えられるようにする。 ●学校や学級のルールを再確認したり、2学期の目標を立てたりして学校生活を充実させる。 ●校外活動を通して、社会のマナーやルールを体験的に学習し、まわりに対する思いを積極的に取り入れる。 ●園生活の充実を回り、友達と協力する大切さや楽しさを味わうことができるようにする。 ●学習の進捗を教室掲示することで、以前の学習を振り返られるようにする。(視覚的支持) ●学年単元の中で楽しく関わったり、役割を果たしたりすることができるようになる。 ●2学期の学習を振り返り、3学期に向けての学習内容の定着を図る。 ●1年生と交流することで、自分たちの1学期の成長を振り返るとともに、安心して入学してもらうために自分たちができていることを考えようとする。 ●1学期の成長を認め、2年生修学への期待を持たせる。 ●友達に声をかけたり、手助けをしたりする姿を面談づけ、周りにも目を向けることができるようになる。 ●学習内容の定着を図るとともに、1学期の成長を認め、2年生に進級する期待をもたせる。 																																			
家庭との連携	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭との連携を取り、生活リズム(起床・食後・お風呂)や家庭学習、日課を揃えるなどの習慣づけを推進できるようにする。 ○通信や連絡帳などで園と連絡を取り、児童や保護者の不安が軽減するよう努める。 ○学年はじめの懇談では、保護者の思いを傾聴し、これら安心して児童も保護者も学校生活が送れるように努める。 ○児童の良いところや友達との関わりの中で増えてくる課題について、教員と保護者が共通理解し、共に育てていく。 ○授業を参観することで、安心感につながる。 ○個人懇談を通して、学校と家庭の様子を伝え合い、連携を図ることで児童の育ちにつなげていく。 ○児童の成長を認め、連絡することで共に喜び、 ○1年生の3学期は2年生の0学期でもあるので、きちんとした生活態度や学習習慣が身についているの小学校と連携して確認していく。 																																			

園では、家庭との連携を大切にしています。小学校でもできる家庭との連携を考え、引き続き家庭と協力しながら子どもたちを育てていきたいと考えました。

カリキュラムのデータはこちら→



カリキュラム例 架け橋期の

